

SNSが切り拓くバリアフリー・コミュニケーション ～企業内SNS最先端の活用事例～

日 時：2009年6月3日（水）13:30～16:40
 会 場：筑波大学 東京キャンパス（茗荷谷）G 501 室
 主 催：横幹技術協議会、横幹連合
 共 催：電気通信大学 Social Informatics(社会情報学)研究ステーション
 参 加 費：**横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は無料。**
 【上記以外】一般 5,000 円
 参加申込：【事前登録】オンライン申込 http://www.trasti.jp/cgi-bin/forum_20_1.cgi?step=1
 又は、下記の参加申込書にご記入のうえ、fax、電子メールにてお申し込みください。
 (氏名、所属、連絡先 Email、TEL、参加費の支払い方法等をご明記ください。)
 【当日申込】当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります)

【企画趣旨】

企業内SNSは、さまざまな情報や知識が比較的気軽に発信され、流通し、利用者間相互の交流がある場であり、新たな知識の構築ないしは問題の発見や解決に役立つことから、バリアフリー・コミュニケーションを具現化しているものと考えられます。

そこで、企業内SNSの活用状況に関して、最先端の事例をご報告いただき、企業の戦略的な視点で、バリアフリー・コミュニケーションの在り方を探ることと致します。

【プログラム】

13:30-13:40 開会あいさつ

総合司会 舘 暉 (敬称略)
 (産学連携委員会 委員長)

桑原 洋
 (横幹技術協議会 会長)

13:40-14:00 ◆ 講演
 「SNSが変える企業内コミュニケーション」

司会 諏訪 博彦
 (電気通信大学)
 山本 修一郎
 (㈱NTTデータ技術開発本部システム科学研究所)

14:00-14:20 ◆ 講演
 「SNSで縦横無尽なコミュニケーションを実現！」

青木 聖子
 (㈱損害保険ジャパン)

14:20-14:40 ◆ 講演
 「富士通グループでのSNS活用状況紹介」

神部 知明
 (㈱富士通ソフトウェアテクノロジーズ)

14:40-15:00 ◆ 講演
 「情報共有ポータルCollaboの利用状況の質的調査」

宮内 興治
 (日本ビューレットパッカード㈱)

(15:00-15:10 休憩)

15:10-15:30 ◆ 講演
 「共通プロジェクトA『企業内SNS』の調査結果報告」

太田 敏澄
 諏訪 博彦
 (電気通信大学)

15:30-16:30 ◆ パネル討論と総合質疑

太田 敏澄(コーディネーター)
 山本 修一郎
 青木 聖子
 神部 知明
 宮内 興治

16:30-16:40 閉会あいさつ

木村 英紀
 (横幹連合 会長)

SNSが切り拓くバリアフリー・コミュニケーション ～企業内SNS最先端の活用事例～

(2009年6月3日(水) 13:30～16:40 筑波大学 東京キャンパス G 501 室)

【講演要旨】

(敬称略)

講演

「SNSが変える企業内コミュニケーション」

◆ 山本 修一郎(㈱NTTデータ技術開発本部システム科学研究所)

講演要旨:企業内では SNS などのデジタルコミュニケーションの活用が始まっている。本講演では具体的な事例観察に基づいて SNS の効果を明らかにするとともに、変わりゆく企業コミュニケーションのあり方を展望する。とくに ICT が加速する知識コミュニケーションの具体的な変化を知識創造、協調学習、組織進化という3つの側面から次の効果について議論する。

- ・SNSは知識創造の重要な媒体となる。
- ・SNSは協調学習を促進する。
- ・SNSは組織の変異、選択、保持を支援し組織進化を加速する。

最後に以上の議論に基づき、社員間のネットワークとしての企業内における社会関係資本のあり方を提言する。

講演

「SNSで縦横無尽なコミュニケーションを実現！」

◆ 青木 聖子(㈱損害保険ジャパン)

講演要旨:同じ仕事をする仲間同士だからこそ、時間や距離、性別や職制といった壁を越えた「ふれあい」「感じあい」が生まれ、「認め合い」「支えあい」「学びあい」「教えあい」を経て互いに育ちあい、自己実現へ向かうと共に、真のナレッジ共有に発展していく。その中にある小さな疑問や発見が組織を動かす力になる。必ず誰かが助けてくれるから、誰かの助けになれる自分がある。企業内SNSを通して生まれる「あいあいの精神」、「風通しのよい風土の醸成」についてご紹介する。

講演

「富士通グループでのSNS活用状況紹介」

◆ 神部 知明(㈱富士通ソフトウェアテクノロジーズ)

講演要旨:富士通グループ内のSNSは2005/11に製品の試行という位置づけで公開され、現在12,000名の規模となっている。利用範囲をグループ全体とし、異なる企業/組織の社員同士がコミュニケーションする場として定着しつつある。企業内SNSの意義、効果、問題点等、富士通の事例をベースに報告する。

講演

「情報共有ポータルCollaboの利用状況の質的調査」

◆ 宮内 興治(日本ヒューレット・パッカー(株))

講演要旨:日本ヒューレット・パッカー(以下、「日本HP」と略す)ではこれまで約2年間、Collaboという企業ワイドの技術情報共有システムを使用してきた。Collaboは文書管理の機能だけでなく、ブログや掲示板、個人プロフィールなどSNS的な機能も併せ持つシステムである。2008年夏、このシステムの利用実態を探るため質的調査を実施した所、ユーザ間で情報共有に関して期待や意図に違いが見られ、それが利用の仕方にも反映されていた。この発表では、ユーザがどのようにこのシステムを利用しているのか紹介すると共に、ユーザ体験向上のための方法を議論し、情報共有システムの課題について触れる。

講演

「共通プロジェクトA『企業内SNS』の調査結果報告」

◆太田 敏澄、諏訪 博彦(電気通信大学)

講演要旨:企業内 SNS は、企業の情報流通・組織活動に対してどのように貢献するのだろうか。2005 年以降、企業内 SNS の導入は盛んになっている。しかし、どのような情報流通・組織活動が SNS を通じて行われているのか、そこに誰が関与しているのか、どのような機能を用いているのか等は明らかにされていない。我々は、企業内 SNS 内で行われた 問題解決に注目し、企業内 SNS の果たす役割を考察する。そのために実施した複数企業への構造化インタビュー調査及び質問紙調査の結果について報告する。

パネル・総合質疑

「パネル討論と総合質疑」

◆太田 敏澄(コーディネーター)
山本 修一郎
青木 聖子
神部 知明
宮内 興治

主催：横幹技術協議会／横幹連合
<http://www.trasti.jp> / <http://www.trafst.jp>
横幹技術フォーラム office-kyg@trasti.jp

共催：電気通信大学 Social Informatics(社会情報学)研究ステーション

<第 20 回横幹技術フォーラム 申込書>

- 1.お名前： _____ 2.ご所属： _____
- 3.電子メール： _____ 4.TEL： _____
- 5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。
(a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他
6. 上記 5 で「(d) その他」に該当する方のみ、参加費についてご記入ください：
a) 請求書送付が**必要**な場合：【郵送先・ご請求書の宛名書き】〒 _____
b) 請求書送付が**不要**な場合：銀行振込予定 _____月 _____日頃 振込人名義 _____

【お申し込み先】横幹技術協議会 事務局 フォーラム係 tel & fax : 03-3814-4130 email : office@trafst.jp
【お振込先口座】三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通口座 4524554 横幹技術協議会 (オウカンギジュツキョウギカイ)
※銀行振込手数料はお振込主様にご負担ください。

交通案内

■ 筑波大学 東京キャンパス G-501 室

http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka_campus.html

東京都文京区大塚 3-29-1

地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅 (出口 1) 徒歩 3 分